

Part1 家はどうなってしまうの？

床上浸水や、地下室に水が流入してまった場合、床は水浸しに。さらに流入してくる水は下水などが混ざっていて、水がひいた後もヘドロのようなものが残っていて、悪臭が漂う状況になり、畳や断熱材は取り替えが必要な可能性も。また床下にも汚泥がたまっていて湿気、悪臭の原因となるので、取り除くことになるんです。



出典：京都大学防災研究所 多々納裕一 「水害リスクコミュニケーション」



出典：京都大学防災研究所 多々納裕一 「水害リスクコミュニケーション」

木製の家具は水を吸ってしまいます。そうするとタンスの引き出しなどは全く開かない状態になってしまいます！中のものを取り出すには、こじ開けなければならず、取り出せても中のものも濡れてしまっている可能性があります。また、濡れてしまった家具は再び使うことが難しく廃棄しなければなりません。浸水後は大量の廃棄物が出ることになるのです…。

Part2 行政は対応してくれるの？

もちろん対応してくれます！その対応は各自自治体で異なるようですが、浸水してしまった住宅を衛生的に使うために必要な消毒や、使えなくなった家具の廃棄などをしてもらえます。災害援護金や税金の特別措置など国が決められていることもありますよ。詳しく書かれたパンフレットが、内閣府のホームページからダウンロードできます。

その支援を受けるためには「罹災証明書」というものが必要になります。これは市町村が現地調査に基づき発行してくれるものなので、浸水被害を受けた際はこちらを発行してもらうことを忘れずに！！



内閣府ホームページ <http://www.cao.go.jp/>

出典：内閣府「被災者支援に関する各種制度の概要」



4号にわたってお届けしてきた短期集中連載はいかがでしたか？  
豪雨の被害は対策や対応によって小さくしていくことができるのです。  
この特集で知ったことを、ぜひ、活用して豪雨の危険を回避!!

第4回



ちょっとまった!その避難は危険

豪雨が…避難しよう!

実際に豪雨がきて、洪水に巻き込まれた時、避難すればいいだけなの？  
そんな疑問を持った「とうこ」が「博士」に、洪水時の避難について聞いてみた。

**とうこ** 都市型洪水やゲリラ豪雨については、だんだんわかってきたんですけど…、実際に豪雨が降ってきた時、いつ避難したらいいんですか？  
**博士** そうだね。今回は避難のことについて話そうか。避難のタイミングについては、「危険を感じたら、いつでも」とも言えるけど…  
**とうこ** え〜！それじゃあ、よくわからないですよ。  
**博士** そうだね。と言うことで、そんな時に自治体が発令する「避難勧告」が役立つんだよね。  
**とうこ** 「避難勧告」？何か聞いたことあります。  
**博士** よく豪雨のときの報道でよく使われたりするからね。それじゃあ、とうこちゃんは「避難勧告」の意味をちゃんと知ってるかな？  
**とうこ** 意味ですか…。普通に考えると「避難して下さい」って意味だと思いますけど、違うんですか？  
**博士** そうだね。意味合いとしてはだいたいあっていかな。「避難することができる人は、指定されたり計画されている避難場所に移動を開始してください」ということだね。  
**とうこ** 「避難を開始」するんですね。  
**博士** さらに「避難指示」というのも参考にするといいよ。  
**とうこ** 「避難指示」ですか？それって「避難勧告」とどう違うんですか？  
**博士** 「避難指示」は「避難勧告」が発令された後に避難中の人たちは、急いで避難を完了してください。まだ避難していない人は早く避難して下さい。もしその時、間や避難するときに危険がありそうだったら、命を守る行動をとってください」と意味だよ。  
**とうこ** 「避難指示」のほうが避難を完了しなくちゃいけないから切羽詰る感じがしますね。  
**博士** そうだよ。「避難勧告」より「避難指示」のほうが危険が迫っているときに発令されるんだ。ちなみに、避難しない状況に陥ったら、高い建物の3階以上に上るといった行動をとるといいよ。

避難にも日頃の準備

**とうこ** 避難のタイミングはわかったんですけど、避難するときは、何にも持たずに逃げていいんですか？  
**博士** あんまり多く持たないのは持たないほうがいいけれども、何も持たないのはちょっと…。いわゆる「非常持ち出し袋」を用意しておいて、それを持って逃げるのがいいと思うよ。  
**とうこ** それって地震に備えておいてある「非常持ち出し袋」でいいんですか？  
**博士** 基本的にそれで十分だよ。あと地震に備えても言われることだけど、洪水が発生しても断水が起きたりもするんだ。だからそれに備えて飲料水や生活用水を準備しておくのも大切だよ。  
**とうこ** 自宅が浸水しないように対策しておくのも大切ですけど、避難のための準備を日頃からしておくことも大切なんですね。

避難準備情報

- ・市町村によっては発令するところもある。
- ・要援護者等、特に避難行動に時間がかかる人は、計画された避難場所への避難行動を開始。（避難支援者は支援行動を開始）
- ・上記以外の人は、家族等と連絡、非常時持出品の用意等、避難準備を開始

避難勧告

- ・通常の避難行動ができる人は、計画された避難場所等への避難行動を開始

避難指示

- ・避難勧告等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了
- ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動

出典：集中豪雨時等における情報伝達及び高齢者等の避難支援に関する検討会 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成のガイドライン」



- 避難の用意チェックリスト
- 非常持ち出し袋の用意がしてあるか
  - 断水に備えて、飲料水などを確保してあるか

**博士** そうだね。豪雨というのは発生する前に何らかのシグナルがある災害だよ。突然降り出すゲリラ豪雨も雲の様子で事前に察知することができる。つまり知識を持って何らかの対策・対応をすることで被害は小さくできるんだ。  
**とうこ** 地震と違って長期にわたった対策だけでなく発生する直前の対策や発生している最中での対応ができる点が重要なポイントなんですね。  
**博士** その通り。でも間違った行動をしてしまうと、とても危険な状態になる。例えば、避難のときも十分に注意しないと危険なんだ。過去には避難中に被害にあってしまった事例もあるんだ。注意するべきポイントをしっかりと覚えておくことが大切だね。

次のページでは洪水時の避難をクイズでシミュレート

# クイズでシミュレーション 洪水の中の避難!あなたならどうする?

**Q.1** 自宅周辺は浸水予想区域。どうやら大雨が降るらしい。非常持ち出し袋を持って避難の準備…。家の中はそのままにしておいて大丈夫?

1. 家の中はそのままにしておいて避難する
2. できる範囲で重要なものは2階に移動する

避難勧告や避難指示が出ているような**危険な状態ならもちろん急いで避難**してください!ただ避難準備情報が出ている状態や、豪雨がやってきそう…という状態のときなら、**できる範囲で家財道具は住宅の2階などの高いところ移動**したほうがいいでしょう。テレビやパソコンなどの電化製品は水に浸かると故障してしまいます。木製ダンスなども水を吸ってしまい、使い物にならなくなることもあります。衣類や寝具なども衛生面や悪臭から廃棄処分になってしまうことがほとんど…。自宅の被害を少なくするためには、大切な家財道具は避難の前に高いところに移動させましょう。**ただ家財道具の移動に気を取られすぎて、自分自身の避難を忘れないように!**

ANSWER. 2

**Q.2** 家が浸水。危険だと思ったあなたは、避難することにしました。あなたなら、何を履いて避難する?

1. 動きやすいように「運動靴」
2. 雨なんだからもちろん「長靴」

間違えやすいのはこの問題かもしれません。実は洪水のときの**避難は「運動靴」を履いていくのが正解**なんです。大雨の中、冠水してしまっている道路を通るような避難で長靴を履いて避難するのは危険。なぜなら**長靴の中に水が入りかえって動きにくくなってしまったり、長靴が脱げてしまったりする**からなんです。動きやすい服装で避難するということは、避難するときはとても大切なポイント。他の例では、非常持ち出し袋が挙げられます。**用意するものは、避難のときに手を自由にしておけるように背負えるリュック等**にすると良いでしょう!

ANSWER. 1



出典: 東京都建設局 ホームページ  
<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/index.html>

## 知っておきたいミニ知識 過去に起こった災害1

### 局地的な大雨～多摩川の増水～

平成20年(2008年)7月18日多摩川では、14時30分過ぎから40分で水位が約30cm上昇する増水があり、神奈川県川崎市高津区二子地区の多摩川の中州に釣り人が取り残される自事故が発生した。普段が歩いて渡れる河原や、中州などでも、急な増水により川岸に戻れなくなることがある。

大雨・洪水注意報は、18日12時19分に発表され、事故現場から約15km上流の府中市では14時00分からの1時間で38mmの雨量を観測している。(気象庁発表)

**Q.3** 洪水の中を家族で避難することに…。洪水のなかはぐれないようにするには、どんな手段が有効?

1. お互いの体をひもで結んで避難する
2. 手をつないで避難する

傾斜地などでは洪水の水の流れが、かなり早いところもあります。**避難するときは十分注意し、2人以上で避難**を!このとき注意したいのははぐれないようにすること。大雨で洪水の中の避難は思っているよりもとても大変です。いつも通っているような道でも、はぐれて、人になってしまう危険があります。その対策としてオススメなのが、**互いの身体をロープで結ぶということ。なるべく動きやすいように、手をつなぐことはやめましょう**。そして、何よりも子どもからは目を離さないようにして!また、水面下ではフタが外れたマンホール、段差、側溝などの危険がいっぱい!先頭を歩く人は**長い棒を杖代わりにして、行く先をついて安全を確かめましょう**。長い棒が見つからなければ傘などでも代用が可能。

ANSWER. 1

**Q.4** 子どもを連れているあなた。子どもを水の中に歩かせるのは危険かも…。そんな時、あなたならどうやって避難する?

1. 抱きかかえて移動する
2. 浮き袋などを利用して移動する

洪水の中を子どもをそのまま歩かせるのは、親としてとても不安なもの。危険だと判断したら歩かせるのはやめましょう。このとき**抱きかかえてしまうと、あなたの行動が妨げられて逆に危険**です。幼児は浮き袋、乳児ならベビーバスを利用して安全を確保!また、**高齢者や身体の不自由な人とともに避難するときは、背負って行きましょう**。ただし、歩ける深さは男性でも70cm、女性なら50cmが限界。水に流れがある場合は、足のくるぶし以上があると流されてしまうこともあり危険!避難することも大切ですが、あまり無理をして避難すると、逆に危険に見をさらすことになります。**水が深く見えるようだったら、高所で救助を待つようにしましょう!**

ANSWER. 2

## 知っておきたいミニ知識 過去に起こった災害2

### 平成20年8月末豪雨

平成20年(2008年)8月26日に低気圧が東シナ海を東に進み九州南部に接近した。これに伴い、27日にかけて、西日本の太平洋側を中心に、南から暖かく湿った空気が流れ込み、大雨になった。また、この低気圧が日本の南海上に進んだ8月28日から31日にかけては、本州付近に停滞した前線に向かって南から非常に湿った空気の流れ込みが強まり、大気の状態が不安定になり、東海、関東、中国および東北地方などで記録的な大雨となった。

この大雨により、愛知県岡崎市では29日に住家の浸水により死者2名となり、各地で浸水害、土砂災害や、落雷による停電などが発生、また、鉄道など交通機関にもおおきな影響が出た。(気象庁発表)



出典: 八王子市 「平成20年8月末豪雨」八王子の記録  
JR東日本提供

**洪水が発生した後はいったいどんな状況になるのか? 浸水した家屋はそのまま使えるのか? 次のページの知っておきたいミニ知識特別編にてご紹介します!**